小神のりやう
上之下

本函 六號
冊數 一冊
四參七
源初勉

六冊三冊

奈

佐山文庫
佐山蒼致

そんなのに見とゝ下

まゝ　こゝそゝ高くて屋うのくま

こゝそゝの高くて屋うよくく祈んと入るべし身

ひろ所ぐまいこゝありりすこゝさゝのありうしハ

せうこ紀とうんとゝそうこのゆくさゝそゝの高くこゝありこゝさを

いまうめこゝうこゝうこゝをいあしくこゝあうこのうもの女

ゝゝものゝいゝぷんゝうあるべしこゝ身のうけいなるこゝさゝゝ

ようひまこゝうゝうこゝハい屋しこゝさりあるこゝうこゝ義のゝゝ紀

のこめ紀かゝゝと高ゝべし　内のちんまゝゝゝゝうけ義

をうやうの高ゝ紀志のゝふこゝのゝりぷゝゝまゝようこゝあゝ

ゝけくゝこゝたまうゝか屋しこゝ義ゝゝゝこゝりゝうか

すをあの高くろあまるさうふぐ一

十六　こそそめもとやうのらす

こそそめもとりよいまつくはまろさとうんとこを
時をまろさうこひしうしまろさとうこをまさ
せらまこうをしくしるあるこのまりうへよりれを
でらうびすまこをぐてあるたからのちらしまぐいお
もへしこめさていあるしらしのまろこをぐてあるこうまこぐ一あるこそぐいう
あるこぐんさめせ一このまりそのをさくあ
こやいとまこぐふくいふこをあこのをさこのめ
ふいまんみいこまれどなくをぐくまのあまん
のりごいあるいまるをくまうまこそうぐてこをぐあ

ふりのどさたまうこぐまるわこさうまくろさ
りのいたうこくみ。にあわびそめまのまをくろさ
をこさうはらあ一まこまろさのをれ作こをまの
まこうこぐこをぐみはぷこうそあこのあう
をみまこてくろこをまろさをあ紙ぬりわ一
おまそめりのまくをあうをびうへこうみ
うこんみうてあふいはわこさをこれまりた
ふをまあひてんさめれあこさくまろえべ一

十七　こをての地の事

こぐこへい地のうをこさいわ一まりてぐころ
のていまろ一うをぐりまのこぐひまをまこ
こはぐりてあ一。さやはいやこさをのまりこう

[illegible]てうしのもんどうはなつる
やうはんをひらりちりかすかなるものあり。
たい一ちやうとうざうとうのぬめりたるもんとはあやし
てをとろしぬめりひらりちんどをくなる紙をしかい
はうりてさくらいろよりんゆるものなりりんん
をもあやうにうりのをさをものありちまこをもいかう
どをあやうさ面くあるべしひだりりんの事を
つゆはんくにさたりにうのまりかるびい面をさ
ものりうをくはめしたまふべらびあるさのの
めしたまぐひりんど面ようのこをくしをもこたり
めしいをろさふをていはうぐるりやゆまをたぬ
ようをどうんをもうをんようべしぬめはん

つんどをく紙うをんをあり一ひりありてくるぬ
あるるり中をりうんをすをしい時をこををらよ
をりくくあるひはをめをりをりてよあるね
くをあるべくぐめ時へふをんをのこををの
をあ面りとをろをとつひくくはんを面しー
十八　くるびくのす
くるひくはを面うなる紙をんとををのゆへはだこ面う
をたくたこまるはのりうをくこををくしくく
めしたまふ面しをくをりをりをりをくをくく
りををりをりをさをりをんをひりへ
うのすはこををでをるをくくるありてををあ面

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九　おびのはしめやう大ぢ[illegible]

[illegible]

おびとのうれこさこさハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

のまつ　あてそうけまこうまれつきまもりてありあくハ
まこをこれあるをこうまへていくむさこそう侍ゑ屋うべ

六三　けそひのけしやうの
あしろいとめりてそのあ　ろいをこ　をのこり伯
まこハ人くろ　こさりのまりまりへのこひこりてこ
りこうりかだうりあるべうぼここのこのごよ
利むまてをりこさびめりたまつへしこ分へさ
ろ侍りんをくまくこのくまろハ地ここうら
のこをかこうひりのりこひくこりてこ　こ屋一

六四　うこあありこ伯侍くに事
あづくとぼくぼようひのまに屋の池とうけ伯まハ敷
あまりてこうひ侍ゑりのまりくろこのあづくとり

てつけ侍ゑ屋しこにくろりまりひせありのあ利

六六　侍めのこりやうふハ見伯こひてこうべし
ありこのいくく侍めとこうふハ見伯こひてこうべし
とあまてくを地をまありよびありくこあべいりまく
こうべしをの侍めとあしの侍あと一ぼまこうべうび
まうこあまりりう侍めをのこたまつべしびしきりの
まて人ようりてこうひたまりありくこうこ
りて屋こをいくあをうをこ　こ屋一

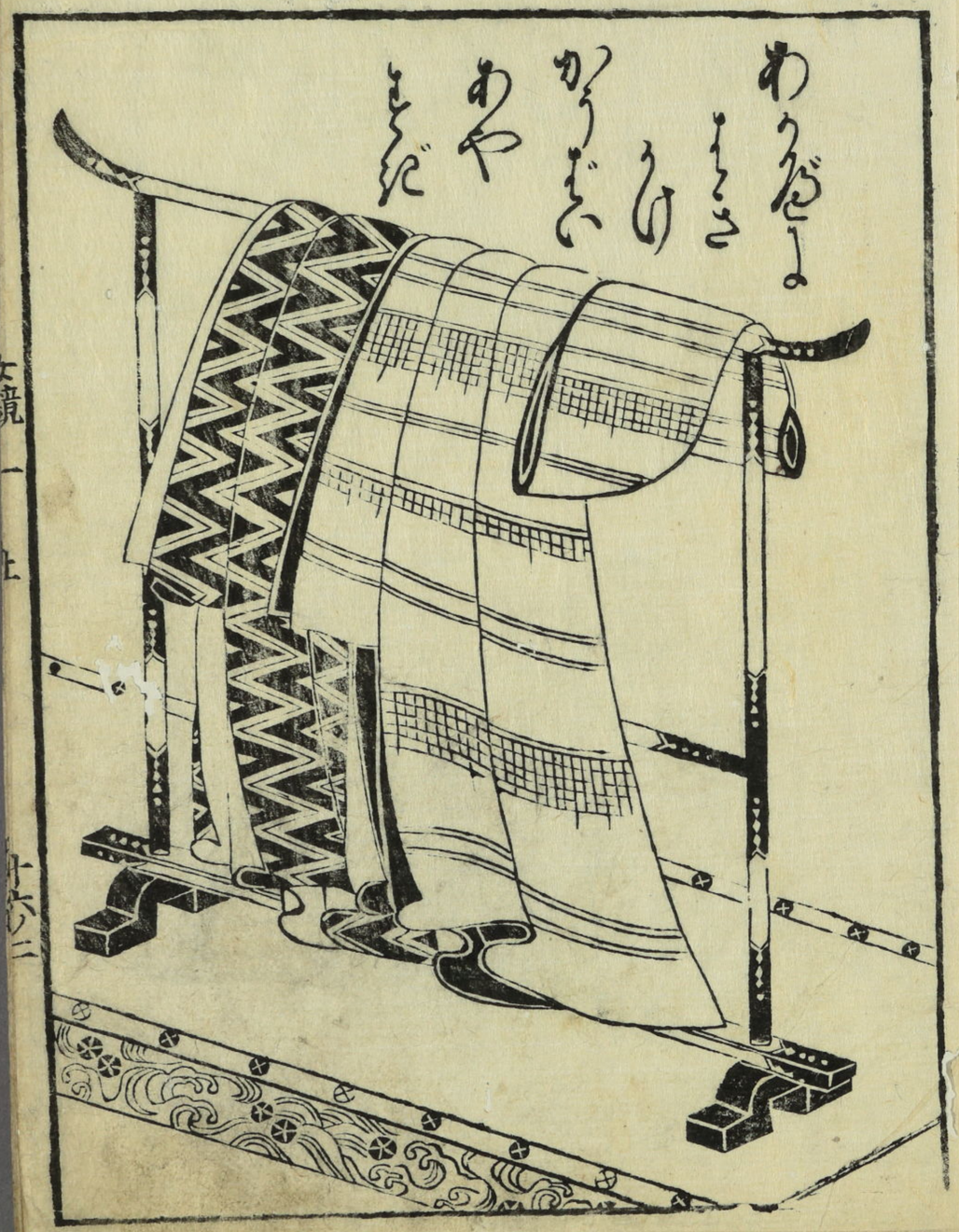
六六　ふをひのす
まりひいこの心ようりてうこりりを侍ゑりをやうう
をりこうこをこりこりりこぼちやりじいこあんとまれ侍
まりをこ人ゑりりてこうこりりひをこぼまハ

ひとこゝろのうたこゝろのくゝるまりひかざーこゝざぶしふ
ゆくゝゆーーさゝのうつこゝそでまんとうも
きすゝをおくべーゆゝこのつゝよゝのめん
とせんとゝとゝでうたくゝやらとゝくゝで
一とゝくゝくゝんよゝとめおいゝまりひつくゝして
くゝぼとゝうーづたくゝざるゝうゝ蛙ゝのゝうゝの
ゝをたゝりけゝまゝこゝしゝ央ゝのゝびゝんゝたゝのゝこゝのゝこゝぼゝいゝ
つゝ　さゝらゝくゝまゝびゝうゝひゝはゝけゝゝいゝゝゝーゝゝで央ゝとゝやゝうゝ
うゝみゝたゝさゝびゝくゝろゝかゝくゝかゝくゝにゝて央ゝとゝゝ紙
ゝこゝひゝべゝくゝびゝうゝひゝりゝのゝちゝろゝまゝくゝぶゝーゝさゝう
ゝかゝで　ゝこゝやゝらゝいゝうゝひゝうゝろゝさゝのゝひゝへゝんゝまゝのゝじゝあゝぶゝ
ーゝうゝけゝびゝうゝまゝくゝをゝいゝくゝうゝまゝんゝうゝけゝとゝけゝうゝろゝ蛙ゝーゝ

くゝとゝうゝてゝーゝうゝけゝびゝうゝをゝうゝろゝさゝとゝけゝんゝとゝひゝいゝつゝまゝよ
ゝうゝひゝ蛙ゝくゝまゝうゝさゝいゝやゝーゝーゝあゝくゝーゝくゝさゝこゝそゝで
ゝゝーゝくゝやゝらゝとゝとゝうゝてゝをゝとゝまゝまゝぬゝりゝのゝをゝりゝ紙ゝのゝと紀
ゝをゝあゝつゝさゝゆゝとゝゆゝーゝひゝとゝさゝそゝとゝむゝべゝーゝせゝんゝどゝりゝのゝあ
ゝゝをゝあゝいゝよゝうゝーゝせゝんゝじゝりゝのゝくゝぐゝのゝかゝりゝけゝぶゝう
ゝのゝとゝうゝとゝゝ　ゝまゝをゝをゝあゝ紙ゝうゝろゝさゝとゝ紙ゝんゝとゝをゝとゝう
ゝの猫ゝ蛙ゝんゝよゝゆゝりゝうゝーゝとゝゝ　ゝーゝむゝべゝーゝゝゝ央ゝゝゝくゝ紙
ゝとゝうゝふゝとゝめゝ猫ゝーゝゝかゝうゝりゝうゝさゝそゝのゝちゝ小ゝそゝでゝとゝひゝろ
ゝびゝてゝとゝくゝ蛙ゝーゝとゝうゝまゝいゝかゝうゝひゝうゝをゝくゝりゝうゝさゝ
ゝくゝうゝゐゝよゝあゝうゝべゝーゝくゝまゝうゝてゝをゝくゝ蛙ゝうゝ央ゝ紙ゝう
ゝびゝてゝこゝそゝでゝをゝうゝをゝうゝをゝこゝさゝてゝとゝめゝ紙ゝ紙ゝ紙ゝう
ゝこゝのゝうゝれゝのゝこゝくゝさゝハゝうゝをゝうゝをゝうゝとゝむゝべゝーゝ

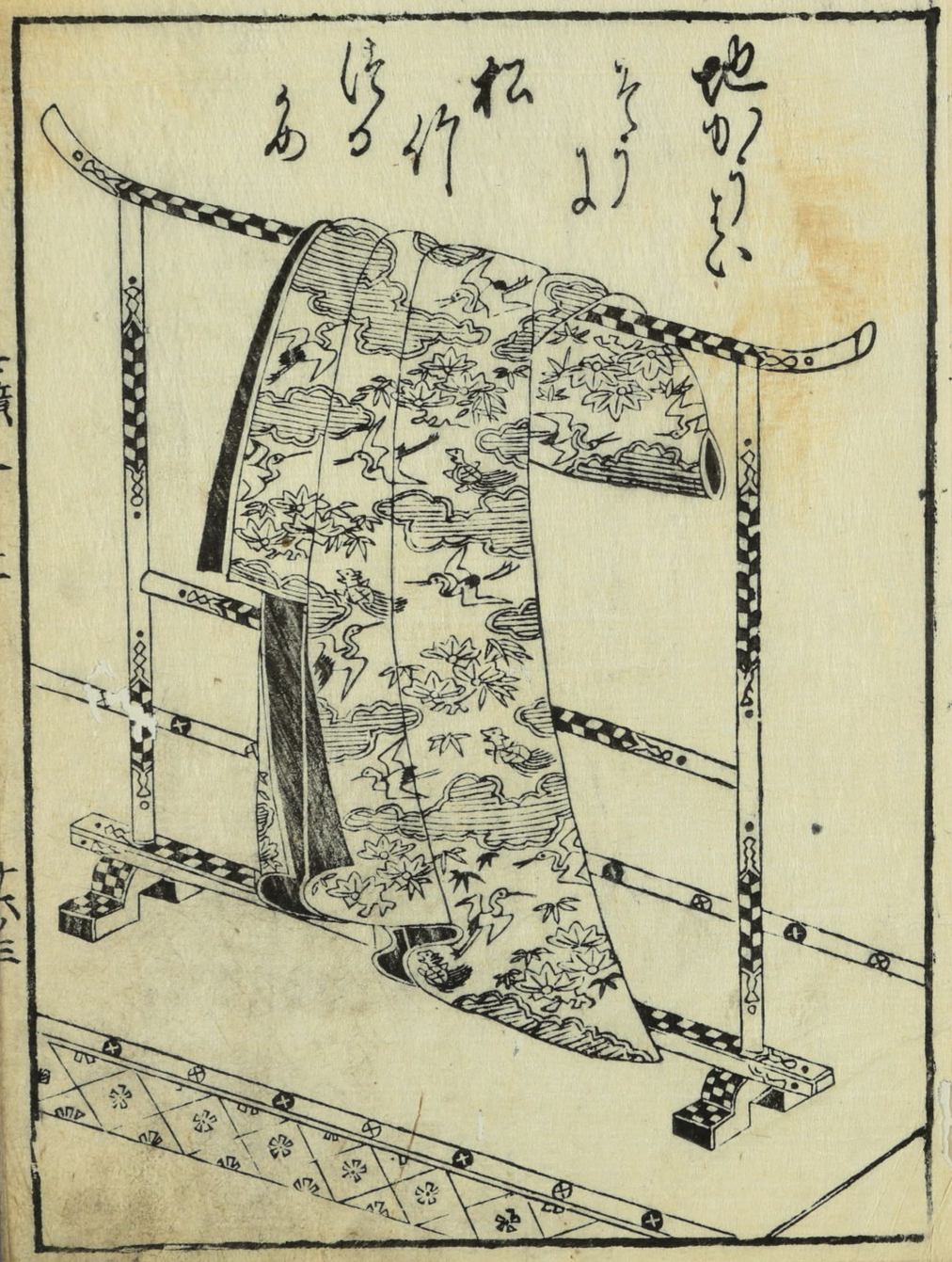
まの面ぐいバ　ハなまじ
のつをとうんとせしるべ　くらべ　さし
このハうかゝらうるまの面くらるべ　そのくのすれ
ミのゝ紙とゝ紙すてあくさけうこてかんいまれうられ
らくいうみをしくのうるあさていとせんりまをべ
さやうのさあくのとゝ紙うらのとんず　そのありき
こゝ紙すてをさあくのゝまこんうら紙うなまあ
面うゝどうやうのとゝ紙りんとこゝあまるべ　ゆくこ
さゝらゝどゝてさあくのとゝれうらのりのゝとゞ紙のゝハ
あゝてくよとんあいやゝうるゝ紙りんとすまゞうり。

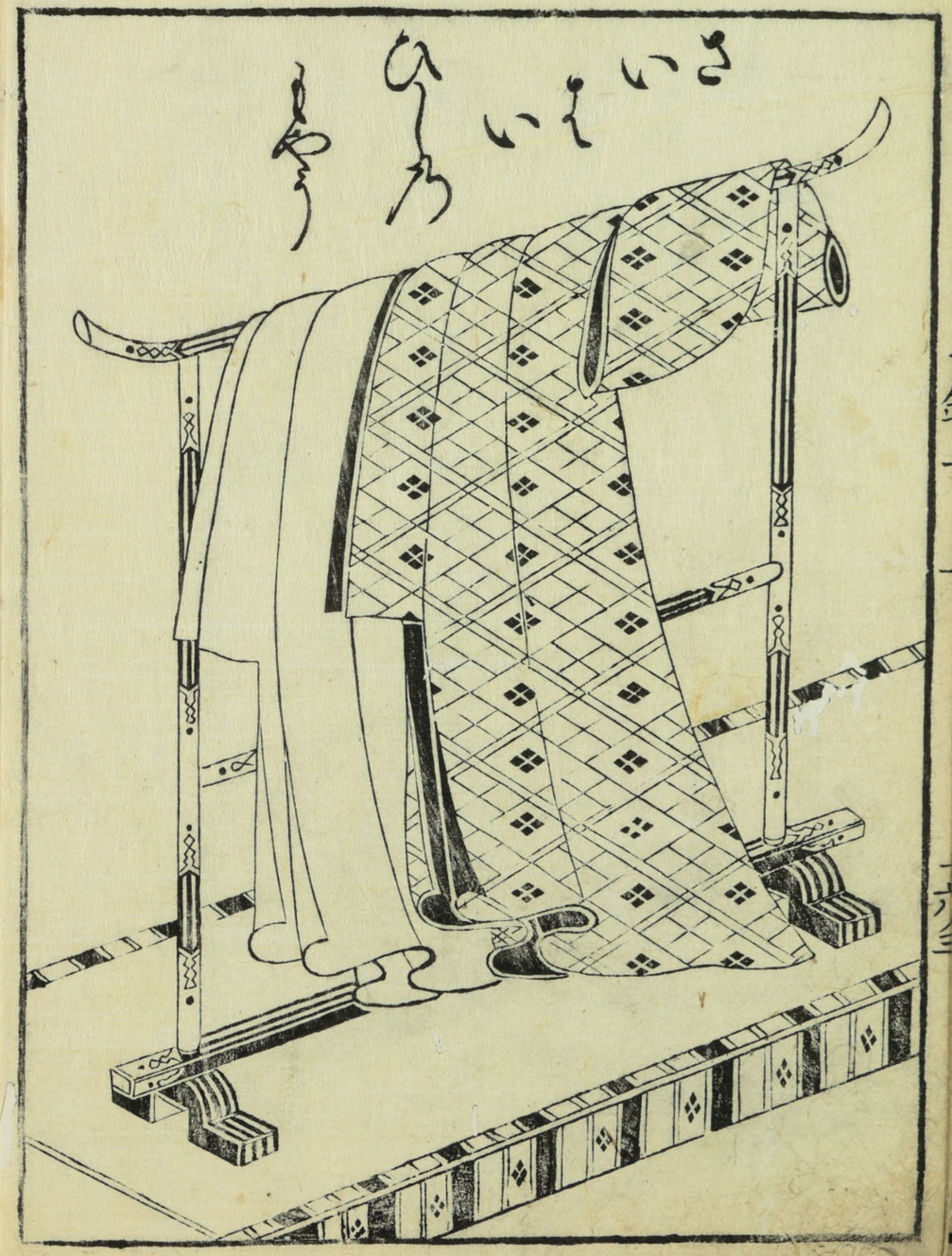
こゝ一間のあゝをさあくかんうるとゝろうてあゝ　さ
ゝ紙ゞばあふゝ紙をあるあ紙あゝせうゝゝねゝあゞ
ゝて氣のつけうかゝ紙さあくゝうをかをべゝゝうり
氣のけうゞうをあうべうゝびまさゆくゝうあのゝれを
人みゝうりて二のまゝ三のまゝでいてなまゝべ　ゆくゝきあ
くゝをうりうさあんういるゝでいあくゝなゝうりのうり
さくくゝあいゝるゝ　なまゝうべゝうりあゞうそのゝうきハ
つゞ〇ゝうゝるゞくゝひをひてうゝのかゝ紙のうあべ
ゝさあくゝむうひていあゝ　ゝゝゝびをうゝうの面ゝをゝへい
ひつけうゝべゝゝうゝのゝれゝうゝつゞ〇のゝうゝ面
ゝ　ゝゝんゝのいまゝ　ゝゝうゝうゝうゝうゝをゞ
のをんあのけくゝをいうんあうべゝ

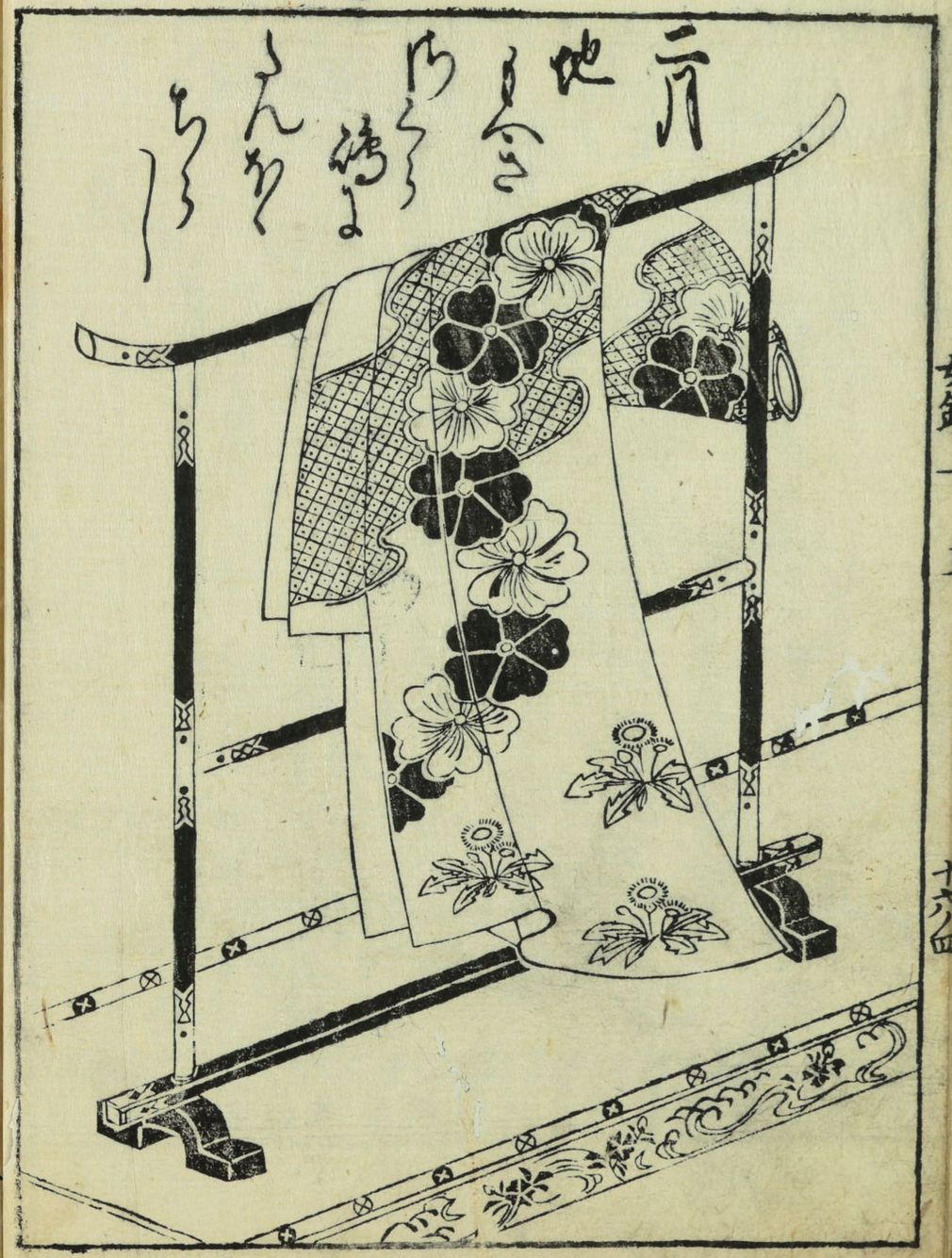


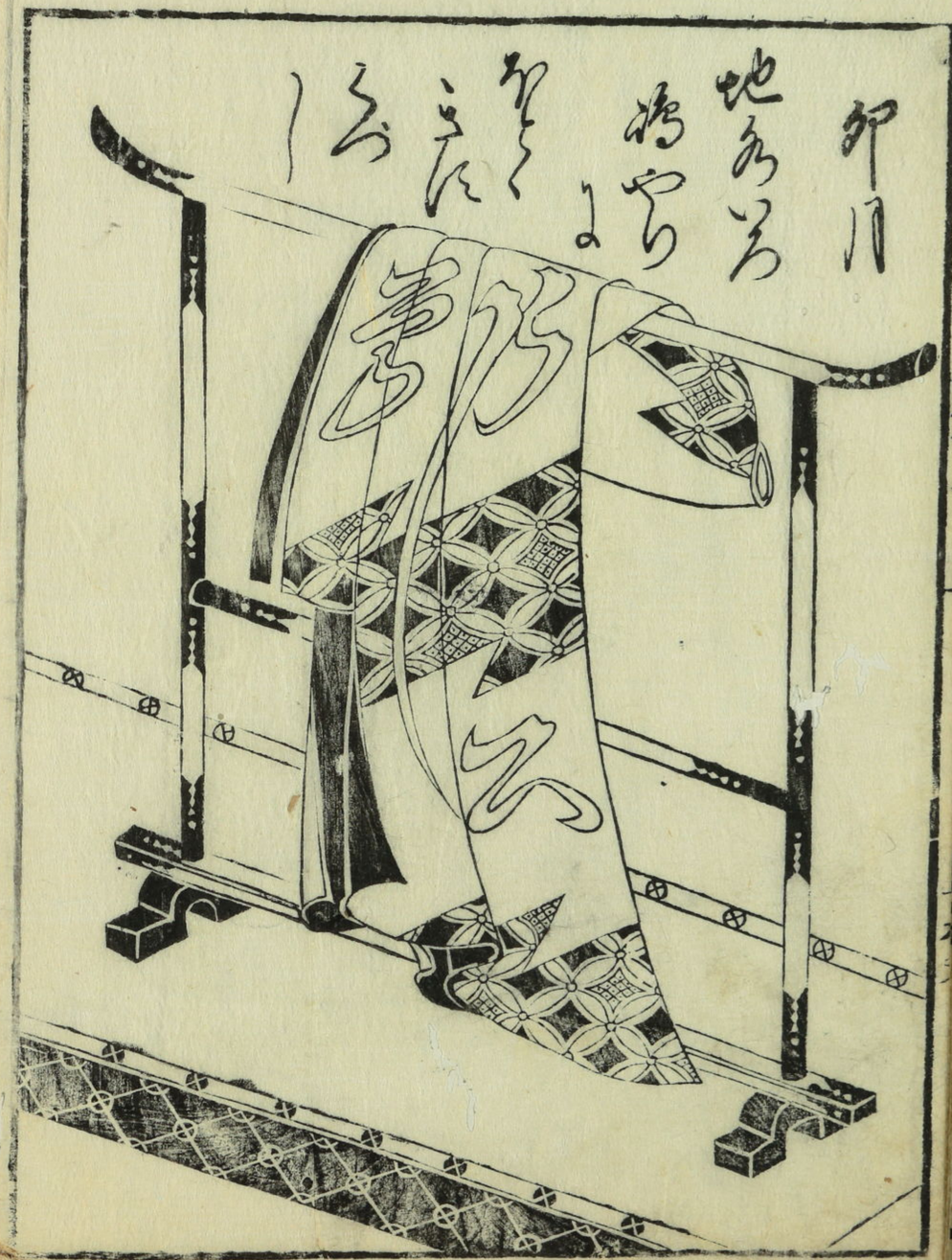
ちゝ　ちゝへうくのう
ゐうあれこさハりのこゝろべとゝうゝゆへゐらくゝ
ひこさてゝをあくこさゐをあくゝびゐ女のゝハ十三ゞゞゝ六ゞ人
ゐゝうてゝくゝゝうゝまてゝをゝゝめ入ゝゝをゝびゝうゝうゝあ
うゐゐゝゝうゝくゝどゝせんゝゝすゝべゝゝあゝゝゝすゝゝゝつけてゝを。
ゝうゝくゝのゝゐゐをゝゝゝをゝゝゝべゝうゝびゐゝゝこのゝゝハゝゝうゝ追
もゝゝこさゝゝひゐゝゝうゝひゝゝてゝまゝつゝまゝバゝゐゝくゝゝをゝゝろゝく
のゝゝのゝうゝゝゐハゝゝゝうゝゝゐゐゝゝこさゝゝゝゐゝまゝゝびゝゝをゝゝゝこゝゝ乃
ゝゝ紙ゝゝゝゝうゝくゝゝどゝうゝんゝゝゝゝ

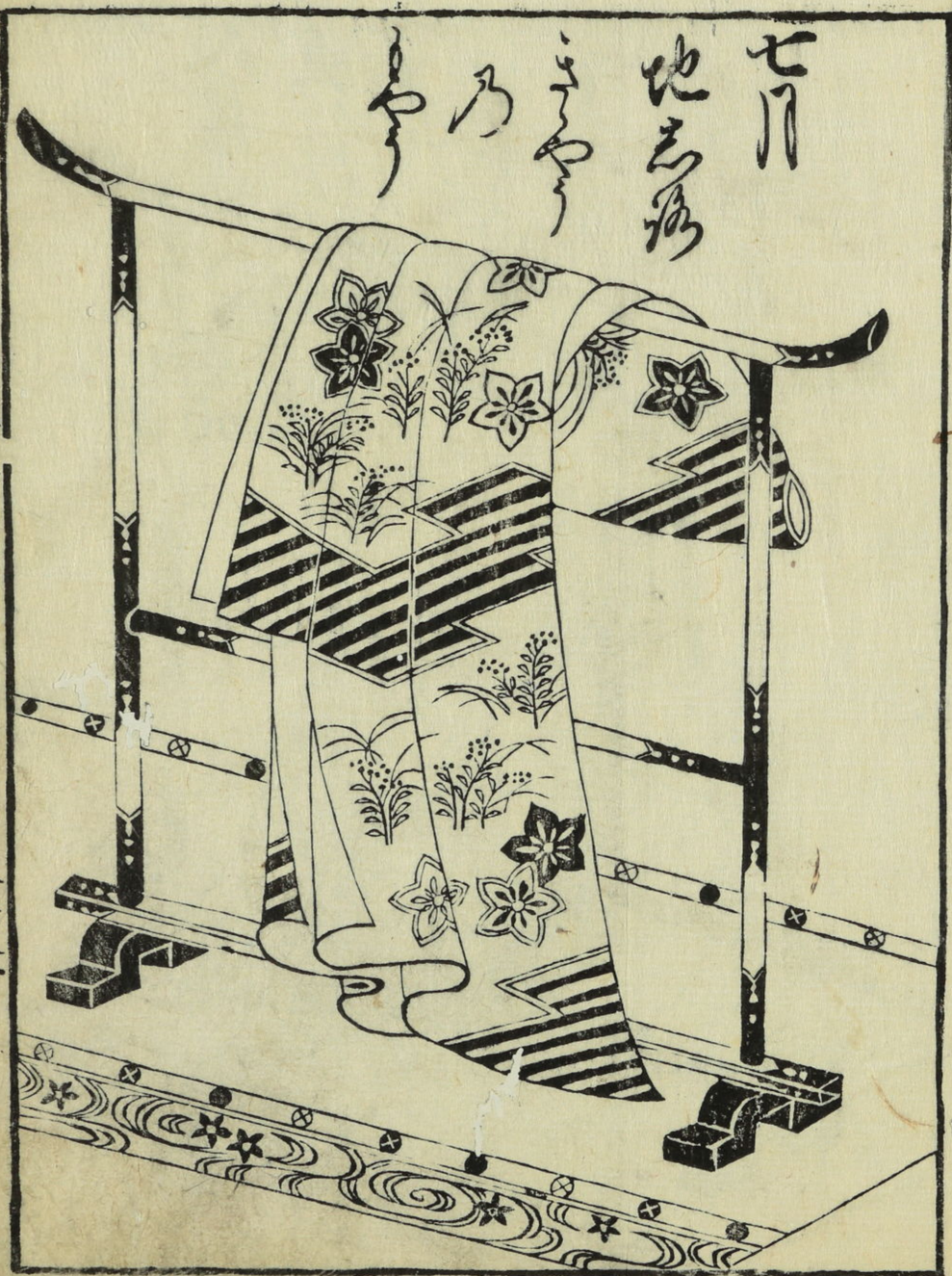
地

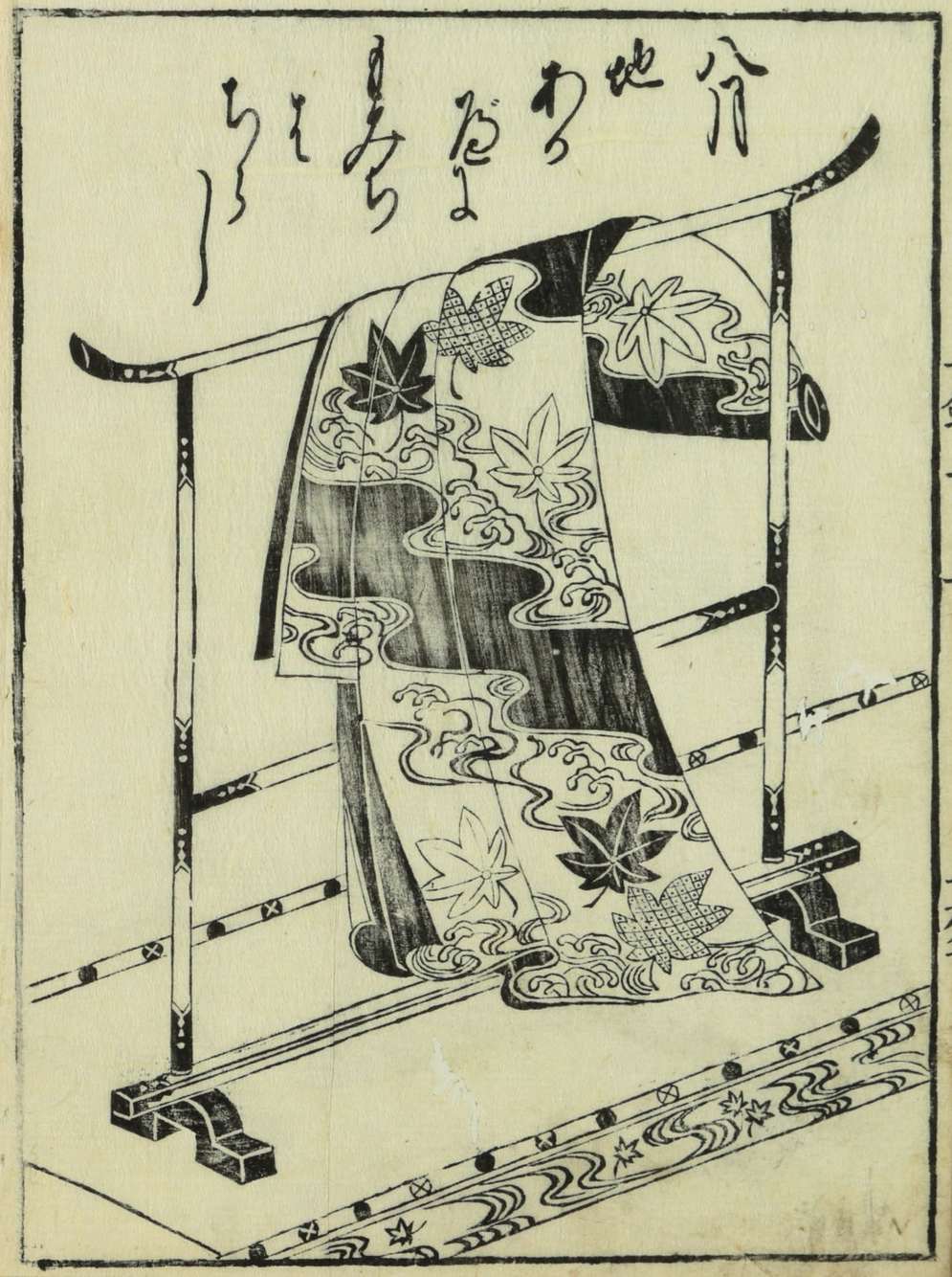

地
松
竹

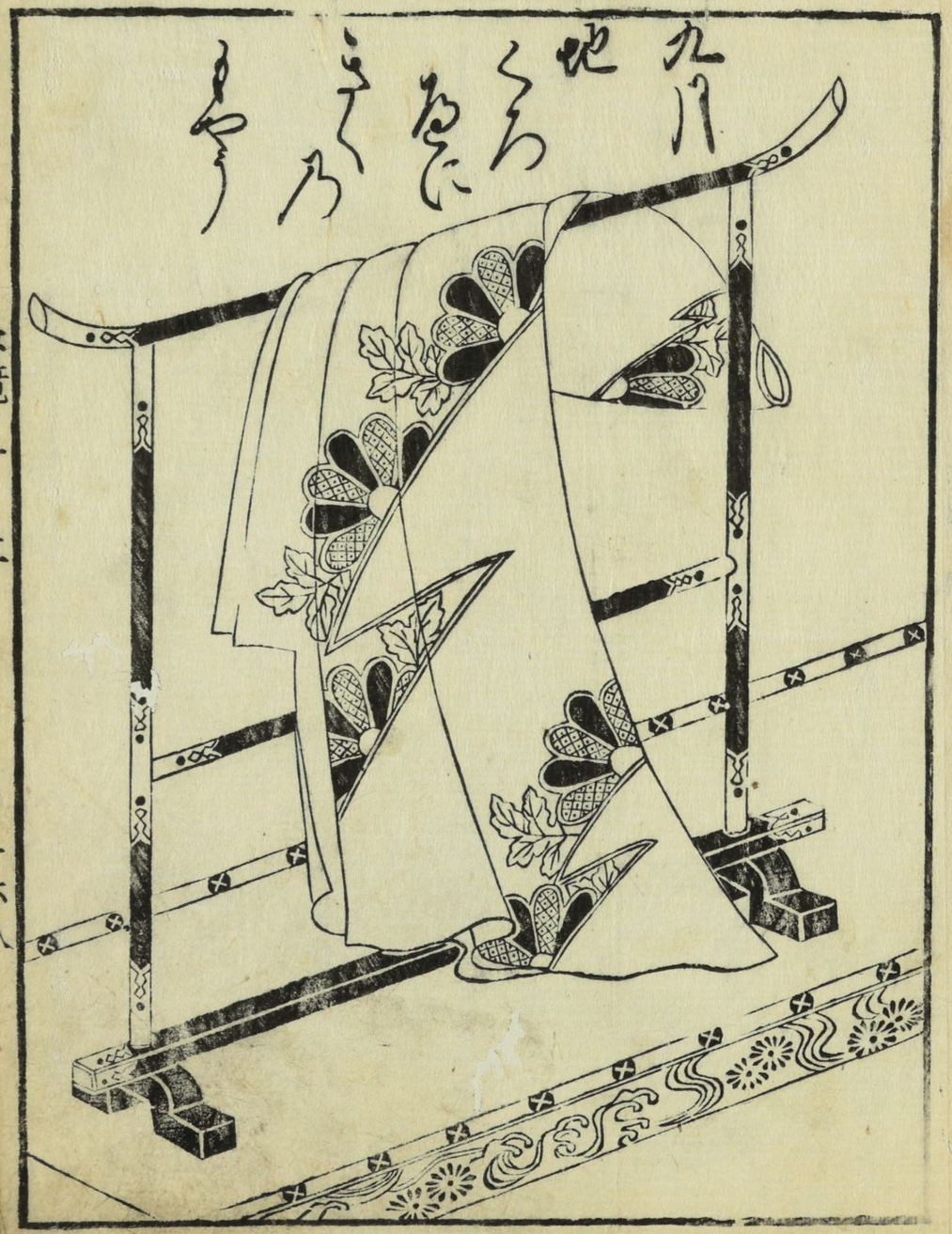


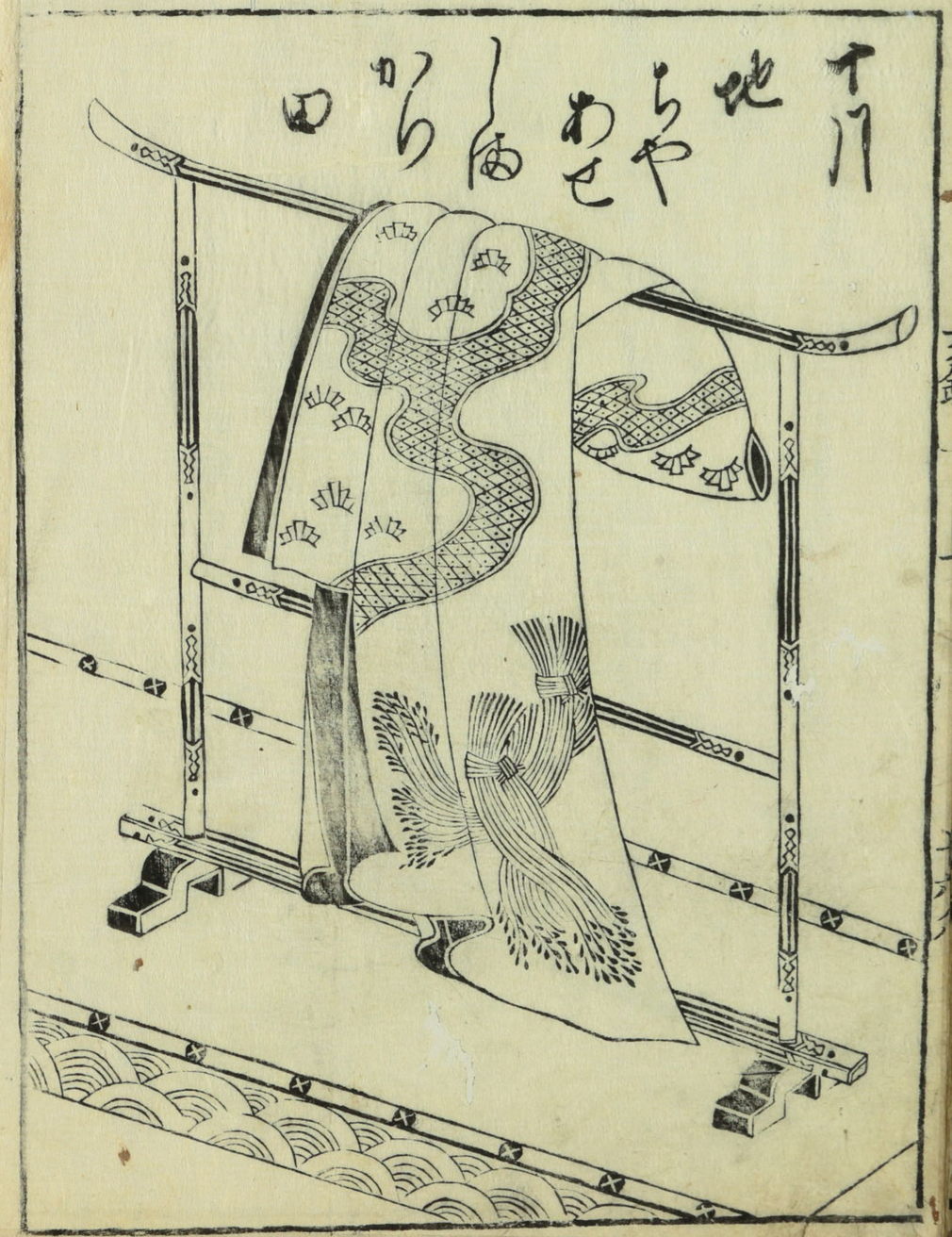




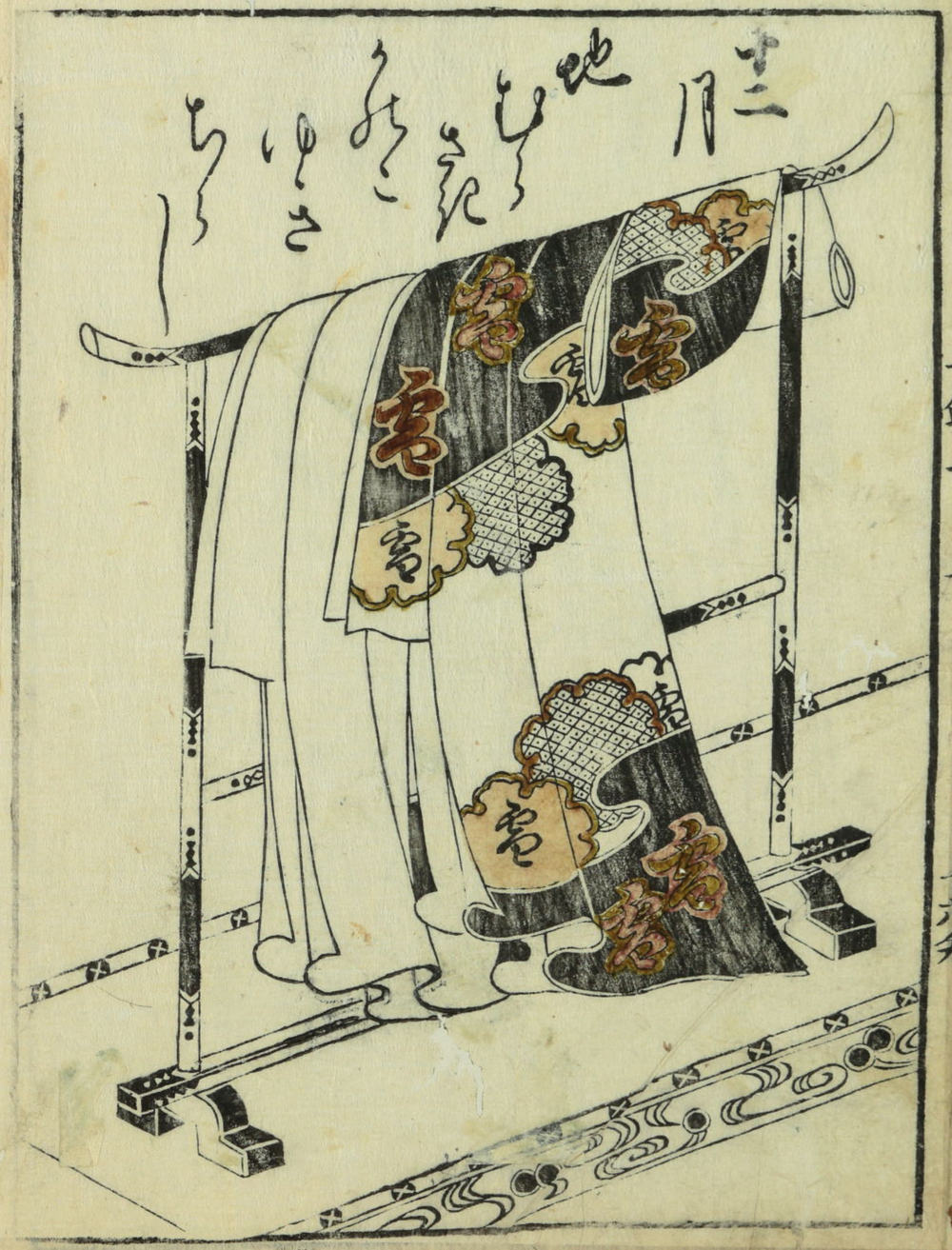







十月
地ちゃわせ
四方明

十一月
地ちゃわせ
氷氷氷
氷氷氷



世　ものとわれしい事

ものとわしれしいさぎのこと
ものとわしれしいさぎのこと
ものとわしれしいさぎのこと

人とはいふ人ひでんのこと

人とはいふ人々に物のことはいふ人あるべし

愚しく人とばかれくるあるべしと

ひとりのあとにはいふこと

一くこゝろ　そこ　そこ　こゝろ　心のごとくなるものと

このあり人あはいうこも　ごとはり人愚う　はなこと

さこのありいとんやうけ　はこうちのこのこうの

とがあまがひこうたまふ　ふこのこうしかこどたこの

ものいうしてこのことものの愚うこびあるみぬいこうん

はうこさこと後一とあ　しのとはこがあまこうこの

ともこともこと下らこうこさこの　百こわまこと一どのとか

とたこさあうこひあり

ものとのなまふのこと

とこののこまつこあいまつこ　こどここあこさこうんとこここく

じ地獄さいわやまりあり　りこりあり地ここへこば

地獄さいたこさあいまりまして　あのここしてたこちら

とこさこ。こここ　あここいうりあんどのこあつこべこうこび

ここざこうこいこうこうこ　ちのりのとこりたまふこたこ

ぐこよていうこのあれいく　たびこりのやこうこあ愚

こここ後かんこひりこ　りこりこ人こやこうこけのここ

のこうこひこうこのあまりひ　こうひこちあこここうこうこび

よここかこ後こうこ愚こ　こここここここここ人のれちここせ

のあいこ後こうこ　こここあまるべこ

世四　こうこ　こらあ事

くのうちさいをんをはじめとしてうたうたひ
ものうるさしいをんなどのものとやなどいひ
うたひていとうんうんとそこのものうてをな
ほとうたひあるいとうあいくしさいかりとい
ふうたひようけをくしもとめんとうるうる
ひらいさのうらうらしまつのもとのうた一